

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	フェリッサ エム		
○保護者評価実施期間	2026年1月5日		2026年3月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	2026年3月17日		2026年3月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月31日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎回の療育の中で小集団療育(5人以下)と専門職による個別療育の両方を実施している。事業所内においても、小集団の様子、個別での様子と環境を変えてお子さまの様子を観察することができるため、より詳細にお子さまの状況を把握することができることが強みとして考えられる。	集団では、5人以下のグループ設定をしており、子ども同士でのコミュニケーションにつながりやすい配慮を行っている。療育の中で気になることがあれば、スタッフ間で共有するようにしている。	子ども同士が主体的にコミュニケーションが出来るような課題などを企画していく。個別や集団の様子を踏まえて、お子さまの関わり方を共有できるようにスタッフ間の情報共有の場を増やすなど、連携を強化する取組を検討していく。
2	事業所内の療育の様子について細かく、共有することで、保護者を含めた療育支援につながるよう取り組んでいるところが強みとしてあげられる。	連絡用のアプリを通して、写真付きにて集団療育と個別療育の様子について細かく報告している。 また、就学前のお子さまに対しては、就学前の情報提供用紙を説明・お渡しすることで、就学後も引き続きお子さまに配慮した支援を受けられるよう取り組んでいる。	療育施設で完結するのではなく、保護者と一緒になってお子さまの療育支援を考えていくことを、普段のやり取りや、保護者研修会を通して共有していく必要がある。 また、保護者に説明するためには、できるだけわかりやすい言葉で丁寧にお話ができるよう取り組んでいく。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアレントトレーニングなど家族支援に対する取り組みが少ない。	アンケートなどを実施し、保護者が欲しい情報について検討しているが、個別性の質問に偏りがちである。 家族会などの要望もあるが、すべての方が了承されていない状況である。 また定期的な家族支援の開催スケジュール等、事業所の年間計画として準備できていない。	アンケートを適時実施することや、年間計画としてスケジュールを明確にすることも必要である。年長児には就学に向けて年度初めに方向性を共有できるように、取り組んでいく必要がある。
2			
3			